



親子でなにわ新発見!

おとなと子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。
今回ご紹介するのは 生き生き地球館(環境学習センター)です。

地球の未来に愛を!!...の巻

「地球にやさしい」とか「エコ」なんていう言葉を最近よく見たり聞いたりします。今回おじゃましたのは、そんな環境について学ぶための施設です。めいっぱいお勉強をして、めいっぱい体力も使ってしまった一日でした。

花博記念公園の一角にある『生き生き地球館』へ行ってきました。環境について、体験しながら学ぶための施設ということで、しっかり親子で勉強してきましょう!とでかけました。まずは本館へ。ここは、たくさんのコーナーに分かれていて、それぞれを回っていきながら、地球の現在の様子や未来のためにできることを学びます。“エコメイト”という各コーナーについての案内をしてくださる方がいるので、どんどん質問してみましょう。子どもたちが一番興味をもったのは、エコ路地にある



お買い物します

スーパーマーケットでの「お買い物ゲーム」()です。棚には、同じ商品で、環境にやさしい商品と、そうでない商品の二種類が並んで置かれています。ひとり、三品の「お買い物メモ」を渡されるので、それぞれ一方を選んで、レジを持って行きます。自分でバーコードをピッと読み取るとそれが環境にやさしい商品なら 印が出るわけです。ゲーム感覚でできるのですが、エコメイトさんにひとつずつ説明を受けると、どう環境にいいのかが納得。

別館は生態系の仕組みを知るジオラマや、昆虫の標本があります。別館は本館とトンネルでつながっていて、探検気分が味わえます。

館内をぐるっと一周した後、屋外の自然体験観察園へ。わざと手を入れ



ていない草があったり、市内ではあまり見かけることので

こんな水車もありますよ

きな雑木林が広がっています。また、水田や、小川、水車などもあり、いろんな植物もいっぱい!落花生ってどこにできる?綿ってこんな植物だった



んだ!これがレンコン?...園内のあちこちで手に虫取りアミを持った子どもを見かけました。これもここならではの楽しみのひとつかもしれません。ただし捕っても、飼えないものは返してあげましょう。飲み物と着替えは必携。疲れたら、母屋で休憩を。お弁当を広げるのにもいいですよ。

めずらしい植物がいっぱい

昔なら普通にあった景色なのに、今はなくなってしまったものがここではたくさん発見できます。未来の子どもたちのために伝えていきたいものもたくさんあります。一日たっぷり学んで、遊んだあとは、おうちへ帰って、それぞれの家族が地球の未来のためにできることを話し合ってみましょう。今回の愛は大きいぞ~!! (写真・文:梅木智子)

「お買い物ゲーム」は10:40~16:40で毎時40分スタート(12:40を除く)。先着7組限定。

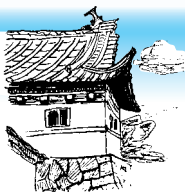
生き生き地球館(環境学習センター)

<http://www.chikyukan.com>

場所 〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-135
電話 6915-5801
FAX 6915-5805
開館 展示施設 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
図書室 10:00~20:30 (土・日曜日、祝日は17:00まで)
休館 月曜日(祝日の場合は、その翌日)・年末年始(12/28~1/4)
費用 無料
交通 地下鉄「鶴見緑地」



このコーナーでは「うちのイチ押し」「親子でなにわ新発見」「人権啓発「ばれっと」」の3つの読み物を順番に掲載しています。12・1月合併号は人権啓発「ばれっと」の予定です。次回の「親子でなにわ新発見!」は3月号の掲載(予定)です。



おおさか歴史探訪

大阪の史蹟や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

御堂筋といちょう並木

大正末期から昭和の始めにかけて、大阪を近代的な都市につくり変えようと、第1次都市計画事業がおこなわれました。このなかで最も重要な意味をもつもののひとつが御堂筋の建設でした。

この時の計画案に、「...種々の意味において本市最高の機能を達成すべきもの」であり、「永遠の必要」から考えて「大大阪の中心街路たるに恥じざる幅員と体裁とを具備」していなければならないと記されています。御堂筋は単に道路の建設に留まらない「近代大阪の顔」をつくるという目的があったのです。

御堂筋は幅員約44メートルで、歩道、車道、緑地帯が整然と区画されています。街路照明は歩道と2列の植樹帯に設置されていますが、歩道と車道のもの千鳥状になるようにされ、また電線は地下に埋設されるなど、景観に配慮がなされています。

その中で御堂筋のシンボルともいえるのが緑地帯に植えられたいちょう並木でしょう。都市景観に豊かな緑をもたらせ、大阪を代表する美しい街路として、市民のみならず大阪を訪れる内外の人々に親しまれています。1937年の完成ですから、今年はずいぶん70周年の記念すべき年ということになります。

御堂筋といちょう並木は、単に都市の街路樹というだけでなく、近代都市大阪を象徴する「歴史的景観」として貴重であるとの観点から、大阪市の名勝に指定されています。近年、都市景観を重視すべきことが指摘されていますが、かつての大阪人は道路の建設にも景観を重視していたことがわかります。

(文・写真:教育委員会文化財保護担当)



御堂筋